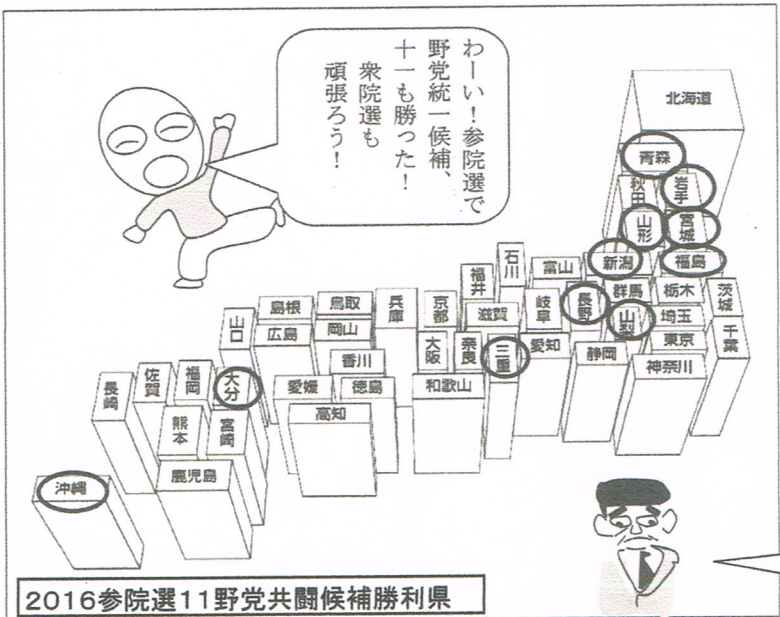


日本には、さまざまな人がいて、さまざまな考え方がある。それでも、根っこに九条をおく。

## 野党 共闘で 戦争しない国を目指そう



### この夏の参院選 ここに注目！

- 1) 2013年の選挙と比べると、  
自民党は減少(65→56)  
民進党は増加(17→32)
- 2) 一人区で、野党共闘の成果あり。  
32区のうち、自民党 21区獲得  
野党共闘 11区獲得  
(2013年の選挙では自民 29区 他党は2区で、自民が圧勝だった。)
- 3) 福島と沖縄で、自民党の現職の大臣が落選。  
(福島で岩城光英法務大臣、沖縄で、島尻あい子北方・沖縄担当大臣が野党統一候補に敗れた。)

勝ったのか負けたのか、わかんなくなっちゃった・・・(〇〇党党首のぼやき)

18, 19歳の投票率は45.45%、  
全体の投票率は54.70%

### 【沖縄通信】 沖縄は日本ですか？

2014年の秋、沖縄県に翁長知事が誕生して以来、国政選挙・地方選挙のいずれにおいても、選挙区では辺野古新基地建設反対の候補者が圧勝し、沖縄県民の民意を示しました。しかし日本政府は、米軍普天間飛行場の危険性除去の名のもとに、沖縄県名護市・辺野古への移設工事を強硬に押し進め、さらに、前知事が出した辺野古埋立承認を、翁長知事が取り消したことに對して、その撤回を求め、代執行訴訟に踏み切りました。その結果、福岡高裁那覇支部において、和解勧告がなされ、双方が応じ、和解協議を開始した矢先、今度は、翁長知事の埋立承認取消行為に對して、日本政府は違法性確認訴訟を起こしました。

日本政府の強硬姿勢は、沖縄県外から500人以上の機動隊を投入して、辺野古の強行警備に止まらず、高江でのヘリパッド(ヘリ着陸帯)移設工事への抗議に對しても弾圧を繰り返しています。陸自の大型輸送ヘリCH47も投入して、建設重機、資材を運搬させる、まさに国家総動員体制ともいえる民主主義への挑戦、破壊であり、地方自治への侵害、冒涇に他なりません。皆さんの住む街でも同じですか？ 沖縄は日本ですか？ (沖縄在住:岩村利一・幸子)

2016年9月16日、沖縄県民の意志を完全に無視し、福岡高裁は翁長知事の辺野古埋立承認取り消し処分は違法との判決を下した。翁長知事は怒りを込めて、『絶対に辺野古に基地はつくらせない』と述べた。私たちは沖縄県民と連帯しましょう！

2016選挙 2013選挙

政党名	当選数	非改選	参院計
自民党	56	65	121
民進党	32	17	49
公明党	14	11	25
共産党	6	8	14
おおさか維新	7	5	12
社民党	1	1	2
生活	1	1	2
こころ	0	3	3
元気	---	2	2
諸派	0	1	1
無所属			
与党系	0	3	3
野党系	4	1	5
その他	0	3	3
合計	121	121	242

過半数は121。  
自民党だけでちょうど 1/2。  
3分の2は162。  
自民・公明だけでは2/3に達しないが他党の賛成により憲法改正の発議が可決される可能性が大。

参議院の任期は6年で、3年ごとに半数が入り替わります

### 代沢九条の会とは？

憲法9条を守ることが大切だと考えている代沢地域に住む人たちの集まり。『代沢九条けいじばん』を年4回発行し、駅頭や戸別に配布しています。

次回例会は、平成28年10月23日(日)  
13:30~16:00 都営住宅集会室(代沢1丁目)  
(公園向かい側平屋建) 9条に限らず、日々の生活で疑問を感じていることなどなんでも話しています。お試し参加も大歓迎。どなたでもご参加ください。



戦争法の廃止をもとめる2000万人統一署名は1350万筆(6月30日現在)を超え、国会に提出されました。  
私たちは断固、戦争をしない国をめざします。

### 神社本庁の「憲法改正」署名運動

先日、初孫の安産祈願で神社に行ったときのこと、境内に憲法改正のポスターと署名用紙がおかれていた。そのときは何とも場違いな感じが思わなかったが、青木理著「日本会議の正体」平凡社新書を読んで理解できた。明治神宮を中心とする神社本庁が音頭を取っているのだ。現行憲法のどこに欠陥があるからこのように変えましょうというような論理性のあるものではなく、ただ情緒に訴えるキャンペーンである。

そもそも、神社が国家の根本である憲法になぜ係わりとするのか。自民党の憲法改正案とも考え合わせ、稚拙で復古的なものを感じるのは私だけでは無いと思う。国家神道と大日本帝国憲法の復権をめざす危険な動きである。時代錯誤と笑ってはいられない。(酒井 坦)

### 北京やソウルでも主張できますか？

拝啓 安倍首相さま

日ごろの「日本を取り戻す」とのご主張、なかなか勇気がお有りですね。しかし、あなたさまの本心は、過去にわが国がアジアで展開した蛮行を正当化することにあるようですね。だから、「戦後レジームからの脱却」と「改憲」に使命感を燃やされているのです。このような行動は、あなたなりの正論に基づくものなのでしょう。

それならば、是非お勧めしたいことがあります。北京の天安門広場、ソウルの光化門広場やパコダ公園で、日ごろのご主張をなさってはいかがでしょうか。もし、正論であるならば中国や韓国の方々もおおいに納得し、嵐のような拍手が沸き起こること間違い無いと思います。 敬具

深田伊佐夫 拝上

### この国の行く末

『「憲法改正」の真実』という集英社新書から出た本が売れている。護憲派の泰斗といわれる東大名譽教授の樋口陽一氏は、「このまま自民党が突き進めば、日本という国家の根幹が破壊されてしまう」と訴え、長い間、自民党の顧問格で改憲派の重鎮といわれた慶大名譽教授小林節氏は、自民党案では日本は先進国の資格を失ってしまうと訴えている。

敗戦後70年、戦前の悪かったことをいろいろ反省して新しい国づくりが始まったと思ったら、「60年安保」と言われる頃から徐々に戦前の悪い処へ戻りつつある気がする。戦前、戦後苦しい時代を体験している者はすでに80歳以上、人口の10%にも満たない。この国の行く末が心配である (吉澤 貞)

真つ当な九条とせよ原爆忌  
七十年不戦の空やいわし雲  
(土屋 光男)



### 終わりの始まりにならないために

アジア太平洋戦争が終わったあと、多くの人が「為政者に、軍部にだまされた」と言いました。原発事故のあと「東電にだまされた」と言っていた人も多かったように記憶しています。都知事が贅沢三昧をした時も、彼に投票した人は「一票入れたのにだまされた」と感じたかもしれません。

夏の参院選と都知事選の選挙結果を見るにつけ「だまされた」では済まない大きな変化が日本社会におきるのではないかと感じています。

「だまされた」と人のせいにするのは、民主主義ではありません。直接にせよ間接にせよ、騙しているのもだまされているのも、私たち自身だからです。

取り返しのつかない「だまされた」が起きる前に、個の最大限の尊重を表す人権、平和主義、そして国民主権を、日本社会はどれほど誠実に希求し、不断の努力によって保持し、目的を達成しようとしてきたのかを、私たち自身で問い直してみる必要があります。

「今の憲法は時代に合わなくなってきたから変える」という意見もあります。しかし、合わなくなっているのかどうかは、少なくとも、一回は誠実に希求し、努力をしてみてもからの話だと思うのです。(暉峻僚三)

### SEALDsが残したもの

2013年12月 大人たちがゴヤゴヤしてる間に、強行採決により特定秘密保護法が成立した。その8日後にシールズの前身SASPL(秘密保護法に反対する学生有志の会=Student s Against Secret Protection Law: サスプル)が生まれた。14年7月1日に安部内閣が憲法の解釈を変え、集団的自衛権を使えるようにする閣議決定をする。14年12月にサスプルは解散し15年5月3日(憲法懸念日)に

SEALDs(自由と民主主義のための学生緊急行動=Students Emergency Action for Liberal Democracy s)として生まれ変わった。安保関連法案の抗議集会で大きなうねりを起こし、野党共闘まで実現させた。メンバーは各地のデモや集会で名前を名乗り自分のことばで語った。匿名の批判や中傷が吹き荒れても「個人が自分の責任において行動することの必要性」を訴えた。そして16年8月15日シールズは解散した。「終わったと言うなら、また始めましょう。始めるのは私であり、あなたです。」ということばで締めくくった。朝日新聞「街頭政治」(2016年8月18日～27日)より (宮田美枝子)

### 「けいじぼん」へのご意見、投稿は・・・

代沢九条の会事務局 03(3412)6097 (ファックスとも)

URL:<http://www7b.biglobe.ne.jp/~daizawa9j/>

email: daizawa 9j@gmail.com